

実りの秋 充実した学校教育を目指して

校長 藤井 和彦

九月一日、長い夏休みを終え、日焼けして逞しさを増した児童が全員元気で登校し、二期が始まりました。

今年の休み中もミニコンサートや水泳記録会で、子供達は日ごろの練習の成果を発揮するとともに、保護者や地域の皆様に頑張る姿をみていただくことができました。ありがとうございます。

さて、神石小学校の特色ある学校生活の一つに全校児童が一堂に会してのランチルーム（ゆずりは教室）給食があります。各丸テーブルごとに楽しく会話しながら、また全員間食を目指し、残り時間十分からは「無言給食」にも取り組んでいます。食べ終わった児童は静かに読書しています。

給食開始後五分間程度の時間を利用して、毎日一人の作文発表時間を設けています。二週間ごとに変わる担当者がその都度、題材設定をして児童が書いたものを発表し、何人かの児童が感想を返します。

一学期の再度の題材は「神石のいいところ」でした。「広々として自然が豊か」「優しいおじいちゃんおばあちゃんがいっぱい」「地域全体がまるでサファリパーク」「地域の人からの挨拶や声かけがうれしい」など、心温まる発表がありました。つい最近「うれしかったこと・夢中になっていること」の題材で、「転校してくる前の学校の友達から手紙をもらい、自分も返事を書いた。」ことを発表した児童がありました。その感想として、「最近携帯電話をみんな使うようになったけど、手紙のやり取りで会話をかわしたんだな」という感想発表があり、いい表現をするものだと感じました。毎日、おいしい給食を味わいながら、こんな給食タイムを過ごしている児童達です。

二期は実りの秋、読書・スポーツ・芸術等、特に今年度は十月二十三日に「子供・夢・アートアカデミー」と題して文化功労者でもある陶芸家の今井政之先生の指導を受ける機会にも恵まれました。また例年の十月の公開研究会、十一月の学校へ行こう週間や学習発表会など、今年も楽しみな学校行事が控えています。毎日の学習の成果の一端を地域や保護者の皆様にご覧いただく機会がありますので、足を運んでいただければ幸いです。今学期もどうぞよろしく願います。